



木城町ゼロカーボンシティ宣言

近年、地球温暖化が一因とみられる気候変動の影響により、世界各地で記録的な高温、大雨、干ばつ等の異常気象が多発しています。日本においても、過去に経験したことがないような集中豪雨や猛暑等が頻発しており、今後さらに災害等のリスクが高まると予測されています。

2015年に合意されたパリ協定及び2018年に公表されたIPCC（国連の気候変動に関する政府間パネル）の特別報告書における「2050年までに二酸化炭素の実質排出量をゼロ」を実現するため、日本においては、2020年10月に政府が「2050年カーボンニュートラル」を宣言しました。

木城町においても、「自然豊かな緑と水のまち」を守るため、町土の8割以上を占める緑豊かな森林資源を生かした取り組みを進めるとともに、本町特有の自然や田園・山と共存する町並みなど景観の保全に努めながら、省エネルギー化や太陽光発電を中心とした再生可能エネルギーの導入を一層推進し、資源循環型社会や自然・環境と共生する地域社会づくりと調和した脱炭素社会の実現を目指していきます。

木城町は、先達から受け継がれてきた「ふるさと木城」の自然と文化を100年後の子どもや孫達に引き継ぐため、「人が元気、地域が元気、住んで良かったと思えるまち 木城」を目指して、町民や事業者など多様な主体と協働した地球温暖化対策に取り組み、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ きじょう」を目指すことをここに宣言します。

令和4年（2022年）3月25日

木城町長 **半渡英俊**

